

Hirata

The Global Production Engineering Company



2023年3月期 第3四半期

決算説明資料

2023年2月

平田機工株式会社

決算状況

2023年3月期 第3四半期



Hirata

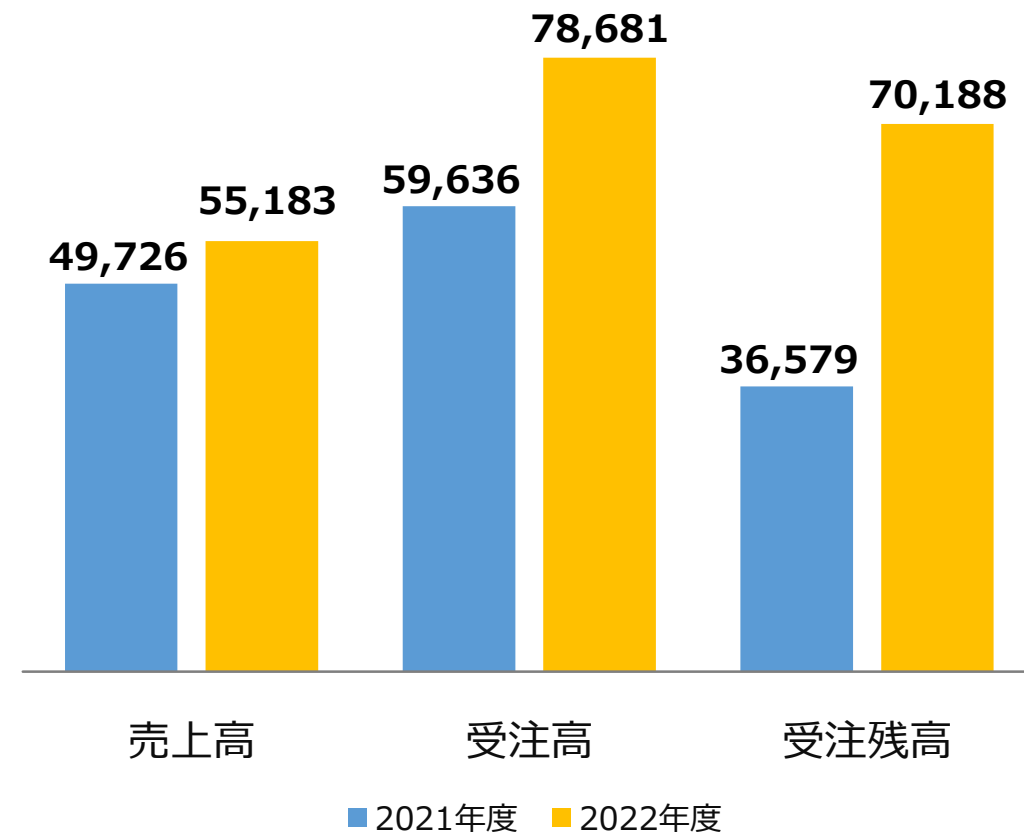
決算概要（第3四半期累計）

- **売上高**：自動車関連を中心とした受注増加や海外関係会社の活動制限緩和などを背景に、前年同期から増収
- **営業利益**：売上高増に加え、内製化拡大により外注費を抑制できたことなどで、利益率が前年同期を上回り、増益

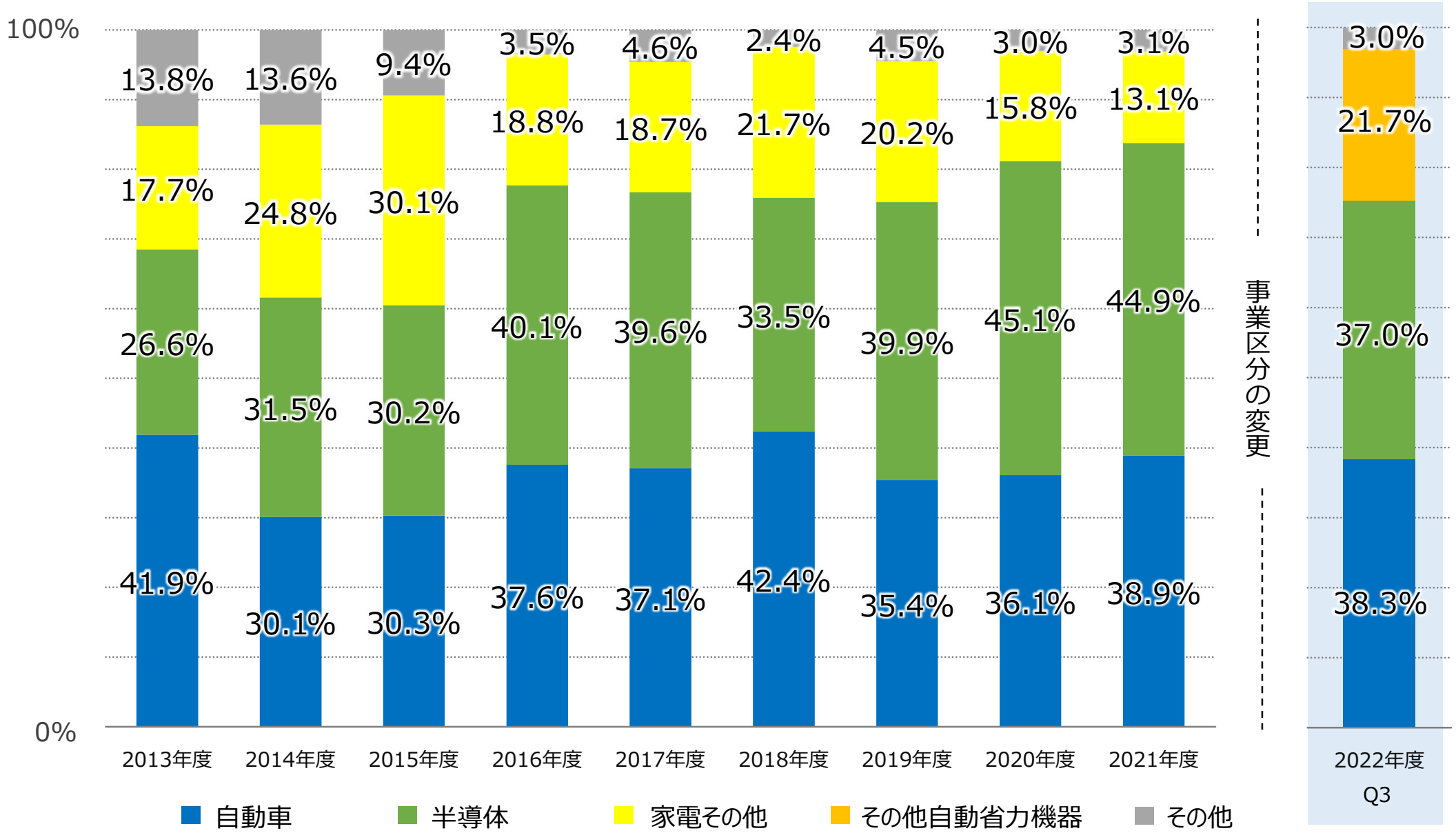
（単位：百万円）

	2021年度	2022年度	増減率
売上高	49,726	55,183	+11.0%
営業利益	3,720	4,473	+20.3%
経常利益	4,024	4,447	+10.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,746	3,223	+17.4%
受注高	59,636	78,681	+31.9%
受注残高 (2022年12月時点)	36,579	70,188	+91.9%

（単位：百万円）



事業部門別売上高構成比推移



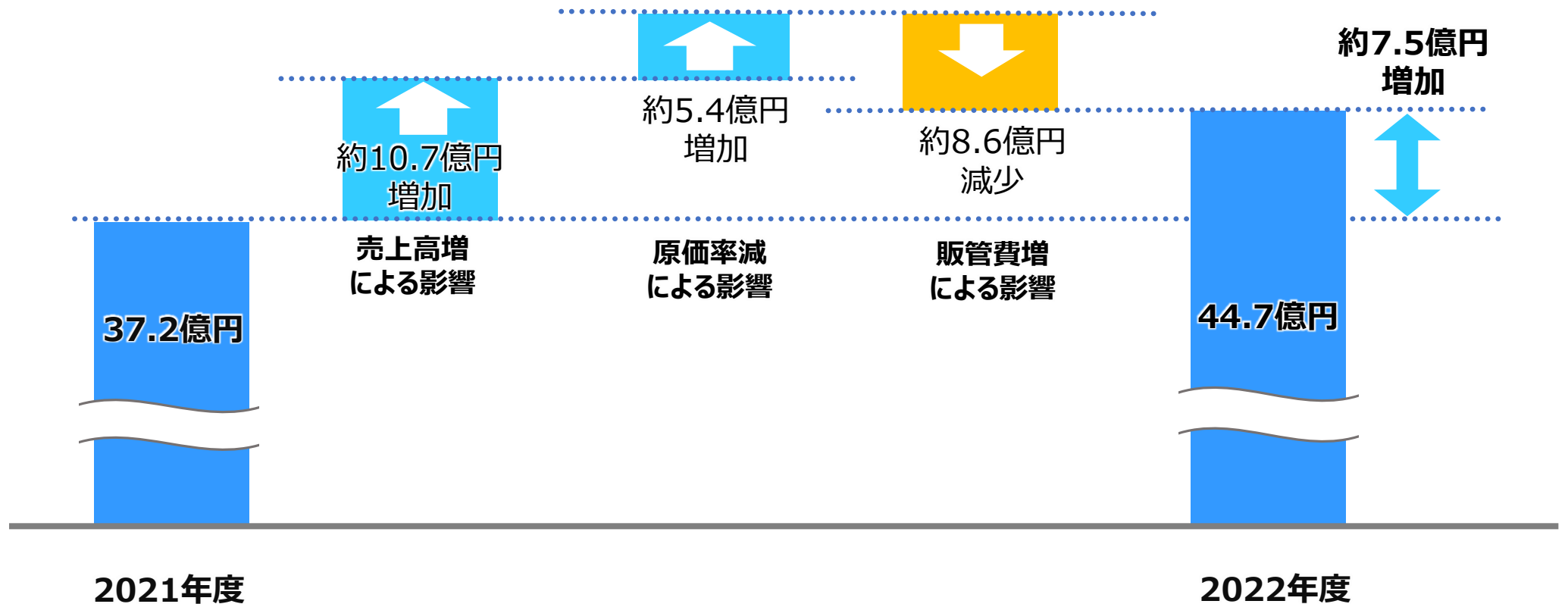
事業区分の変更

※2022年度より、事業区分の変更を行っております。詳細は、本資料9ページをご参照ください。

営業利益の増減要因分析（第3四半期累計）

（単位：百万円）

	売上高	売上原価		販管費	営業利益	
			原価率			営業利益率
2021年度	49,726	39,974	80.4%	6,032	3,720	7.5%
2022年度	55,183	43,814	79.4%	6,895	4,473	8.1%



貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2021年度	2022年度 Q3	増減
流動資産	67,003	75,161	+8,157
固定資産	32,482	34,187	+1,705
有形固定資産	23,526	24,005	+479
無形固定資産	499	714	+214
投資その他資産	8,456	9,467	+1,011
資産合計	99,485	109,349	+9,863

負債	2021年度	2022年度 Q3	増減
流動負債	31,612	38,890	+7,278
固定負債	12,935	10,934	△2,000
負債合計	44,547	49,824	+5,277
純資産			
純資産合計	54,938	59,524	+4,586
自己資本比率	54.8%	54.1%	△0.7pt

主な増減項目

資産

棚卸資産	+4,073
現金及び預金	+1,644
売上債権等	+1,462

負債・純資産

利益剰余金	+2,587
有利子負債	+2,532
契約負債	+2,279

想定為替レート

(単位：円)

想定為替レート	2022年4月1日～12月31日 実績レート	2023年1月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	120.69	120.00

PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2020年度	2021年度	2022年度 Q3
PER (倍)	17.47	20.90	— ※
PBR (倍)	1.38	1.03	0.96
ROE (%)	8.32	5.06	— ※

※PER・ROEについては、本決算時に開示いたします。

※2021年度より、「収益認識に関する会計基準」等の適用後の数値にて算出しております。

事業部門別売上高・受注高・受注残高（第3四半期累計）

（単位：百万円）

	事業部門	2021年度	2022年度	増減率
売上高	自動車関連	19,628	21,152	+7.8%
	半導体関連	14,510	20,411	+40.7%
	その他自動省力機器	13,840	11,960	△13.6%
	その他	1,747	1,659	△5.1%
	合計	49,726	55,183	+11.0%
受注高	自動車関連	18,708	32,787	+75.3%
	半導体関連	25,407	27,502	+8.2%
	その他自動省力機器	13,781	16,632	+20.7%
	その他	1,739	1,758	+1.1%
	合計	59,636	78,681	+31.9%
受注残高	自動車関連	12,559	35,410	+181.9%
	半導体関連	16,419	23,751	+44.7%
	その他自動省力機器	7,220	10,522	+45.7%
	その他	378	503	+33.0%
	合計	36,579	70,188	+91.9%

事業部門別の状況

事業部門の区分見直し（再掲）

2022年度より事業部門の区分変更を行い、これまでの自動車関連、半導体関連、家電関連およびその他、その他の区分から、**自動車関連**、**半導体関連**、**その他自動省力機器**、**その他**に変更しております。また、これまで半導体関連に含んでいた有機ELおよび液晶関連をその他自動省力機器に再区分しております。

併せまして、開示セグメントを地域別から事業分野別に変更しております。

自動車関連

EDU、モーター、バッテリー、IGBT・インバーター、エンジン、トランスミッション、FCV、その他

半導体関連

ウェーハ（EFEM、ソーター、ウェーハロボット、FOUPオープナー）、PLP、その他

その他自動省力機器

有機EL関連、液晶関連、物流、医療・理化学機器、ロボット、家電、電動化商品、その他

その他

子会社による太陽光発電関連、ポイント・顧客管理システム関連など

事業部門別売上高・営業利益（第3四半期累計）

（単位：百万円）

	自動車関連		半導体関連		その他自動省力機器		その他		連結消去		合計	
	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度
売上高	19,628	21,152	14,510	20,411	13,840	11,960	1,752	1,659	△5	△0	49,726	55,183
営業利益	209	891	1,880	2,624	1,488	957	137	△3	3	3	3,720	4,473
営業利益率	1.1%	4.2%	13.0%	12.9%	10.8%	8.0%	7.9%	△0.2%	-	-	7.5%	8.1%

事業部門別売上高 四半期進捗率

当四半期

(単位：百万円)

	Q1 (4月～6月)	Q2 (7月～9月)	Q3 (10月～12月)	Q4 (1月～3月)	累計	期末予想 (11/11発表)	進捗率
売上高	16,739	17,929	20,514	-	55,183	80,000	69.0%
自動車関連	6,298	7,031	7,822	-	21,152	32,000	66.1%
半導体関連	6,430	6,366	7,614	-	20,411	30,000	68.0%
その他自動 省力機器	3,536	4,323	4,099	-	11,960	16,000	74.8%
その他	474	206	978	-	1,659	2,000	83.0%

電気自動車（EV）・ウェーハ搬送・有機EL 関連状況（第3四半期累計）

（単位：百万円）

	受注高			売上高		
	2021年度	2022年度	増減	2021年度	2022年度	増減
電気自動車（EV）	12,862	25,057	+94.8%	10,838	13,435	+24.0%
ウェーハ搬送	15,703	16,385	+4.3%	9,448	11,067	+17.1%
有機EL	3,529	3,712	+5.2%	4,376	3,626	△17.2%

■電気自動車（EV）

自動車関連のうち、電気自動車（EV）関連の受注高は約76%、売上高は約64%の割合となりました。
前期と比較すると、受注高が約121億95百万円増、売上高は約25億97百万円増となりました。

■ウェーハ搬送

半導体関連のうち、ウェーハ搬送関連の受注高は約60%、売上高は約54%の割合となりました。
前期と比較すると、受注高が約6億82百万円増、売上高は約16億18百万円増となりました。

■有機EL

その他自動省力機器関連のうち、有機EL関連の受注高は約22%、売上高は約30%の割合となりました。
前期と比較すると、受注高が約1億83百万円増、売上高は約7億51百万円減となりました。

2023年3月期業績の見通し

2023年3月期 第3四半期



Hirata

(単位：百万円)

通期業績予想（再掲）

2022年11月11日に通期業績予想の修正を発表いたしました。

	2021年度 実績		2022/5/13発表の 2022年度 通期予想		2022/11/11発表の 2022年度 通期予想	
売上高	67,087		80,000		80,000	
自動車関連	26,109		33,000		32,000	
半導体関連	20,928		28,000		30,000	
その他自動省力機器	18,002		16,000		16,000	
その他	2,046		3,000		2,000	
営業利益（率）	3,856	(5.7%)	3,000	(3.8%)	5,000	(6.3%)
経常利益（率）	4,258	(6.3%)	2,900	(3.6%)	5,000	(6.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益（率）	2,682	(4.0%)	2,000	(2.5%)	3,500	(4.4%)

※2021年度の事業部門別売上高は、2022年度より適用しております事業区分の変更後の数値にて記載しております。

通期業績予想の修正について

- 売上高は期初予想と同水準での着地を見込む一方、各利益については原材料価格や物流費用の高騰等の影響はあるものの、売上原価の低減努力や予定していた研究開発費を含む管理間接部門の各プロジェクトの見直し等、販管費の抑制策等にも注力した結果、期初予想を大きく上回る水準に上方修正いたしました。

1株当たり配当金・配当性向 推移および予想（再掲）

（単位：円）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					2022/5/13 予想	2022/11/11 予想
1株当たり配当金	125.00	40.00	65.00	65.00	50.00	85.00
配当性向（%）	28.4	23.8	16.6	25.2	25.9	25.2

※配当性向は連結ベースです。

配当予想について

当社は、株主に対する利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、財務体質の強化を図りつつ、連結業績や今後の事業展開などを勘案しながら、連結配当性向20%以上を概ねの目安とし、安定的・継続的に行うよう努めています。

また、次期の配当につきましては、配当政策に基づき、業績予想に基づく利益水準と前期の配当性向などを勘案の上、85円の予想に修正しております。

参考資料

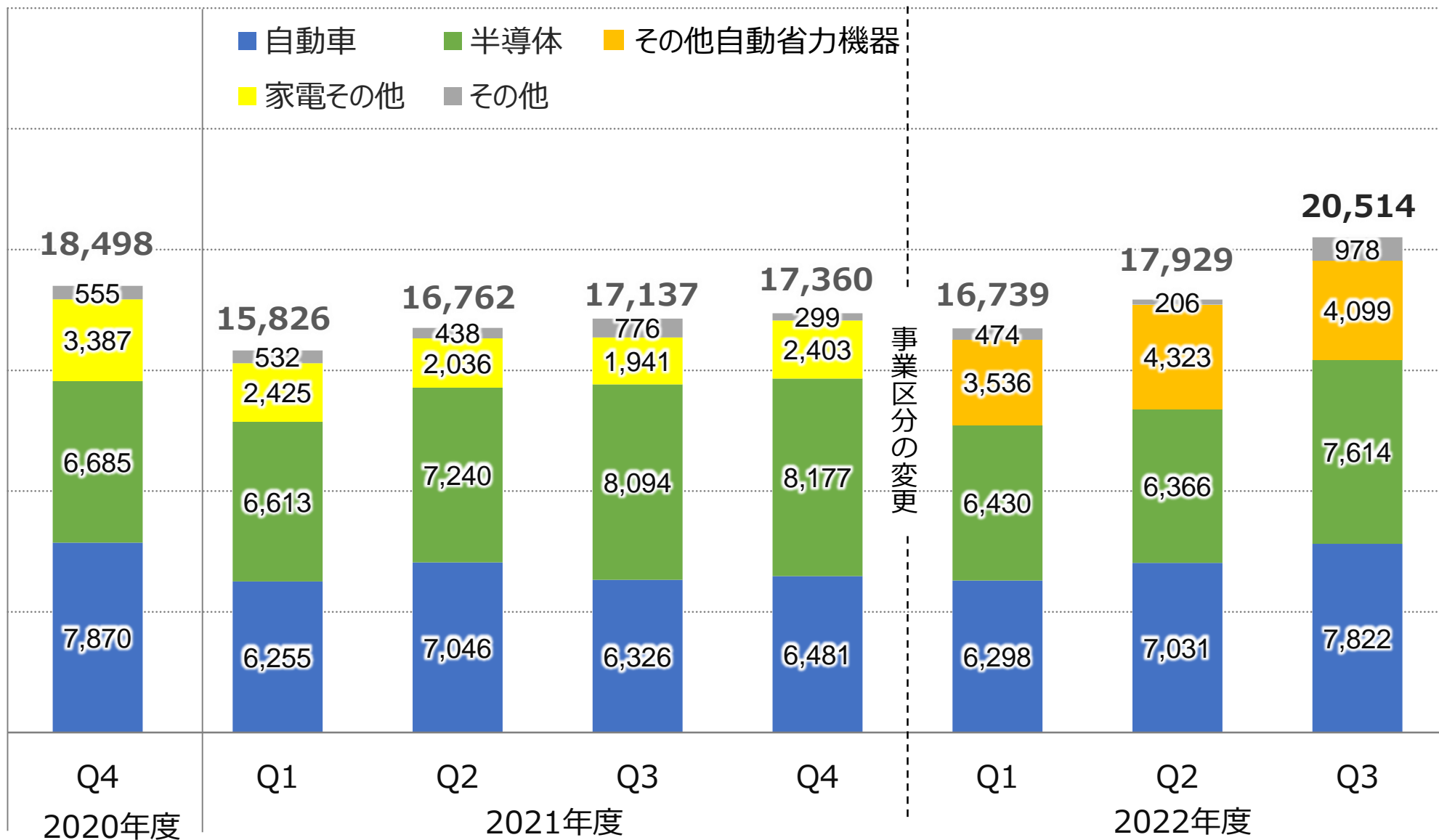
2023年3月期 第3四半期



Hirata

事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)

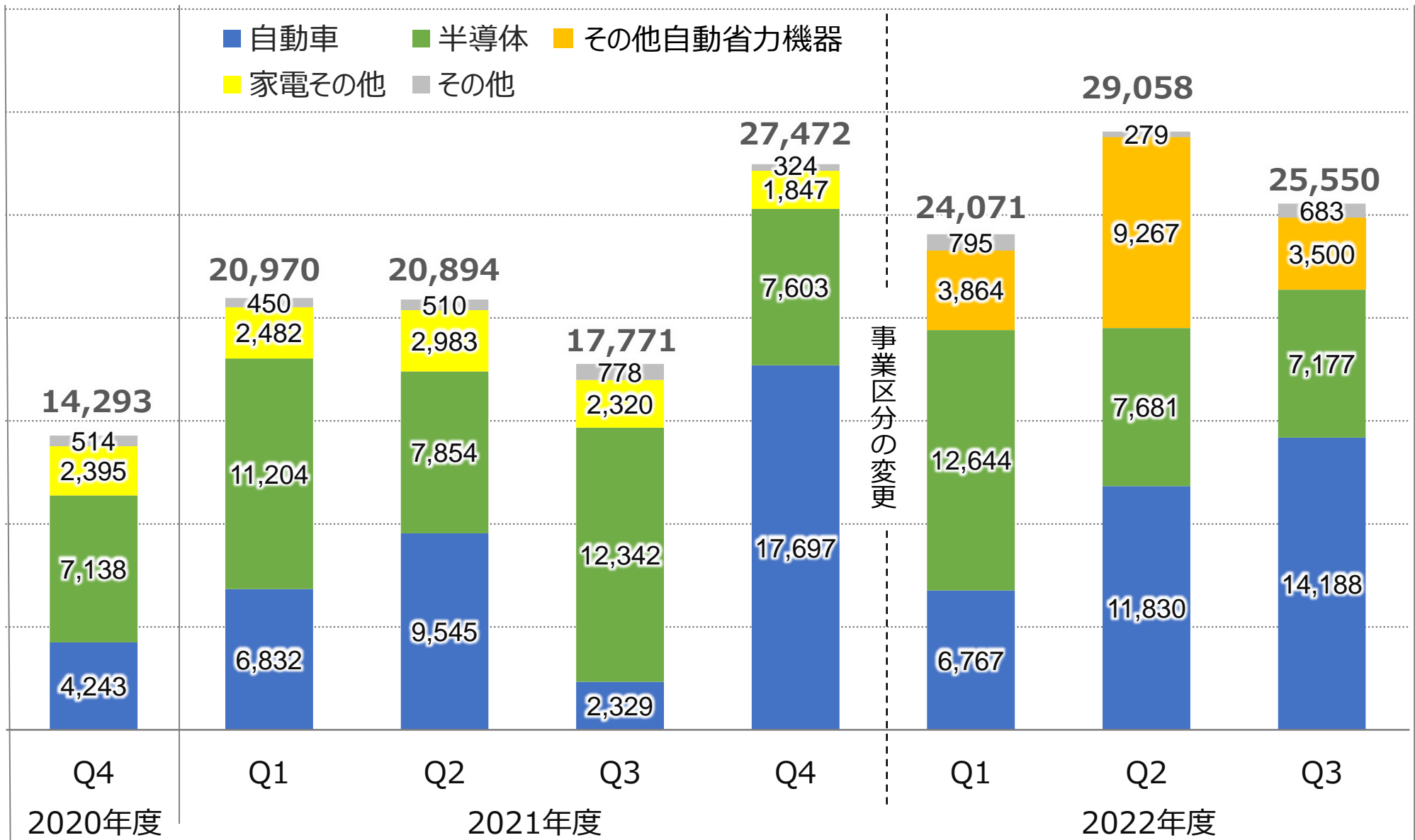


※2021年度より、「収益認識に関する会計基準」等の適用後の数値にて算出しております。

※2021年度までは旧事業区分にて記載しております。

事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

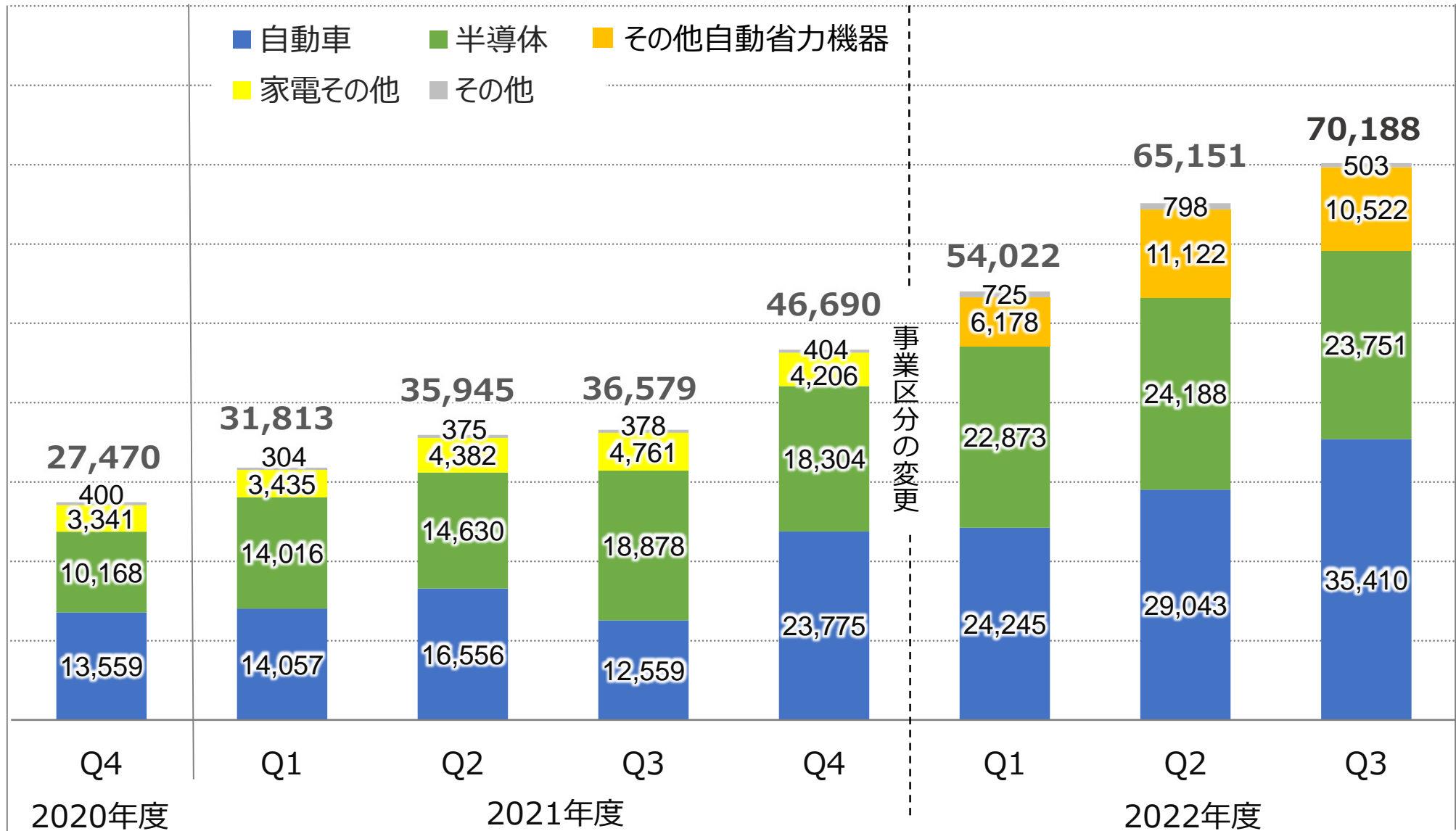


※2021年度より、「収益認識に関する会計基準」等の適用後の数値にて算出しております。

※2021年度までは旧事業区分にて記載しております。

事業部門別四半期受注残の推移

(単位：百万円)



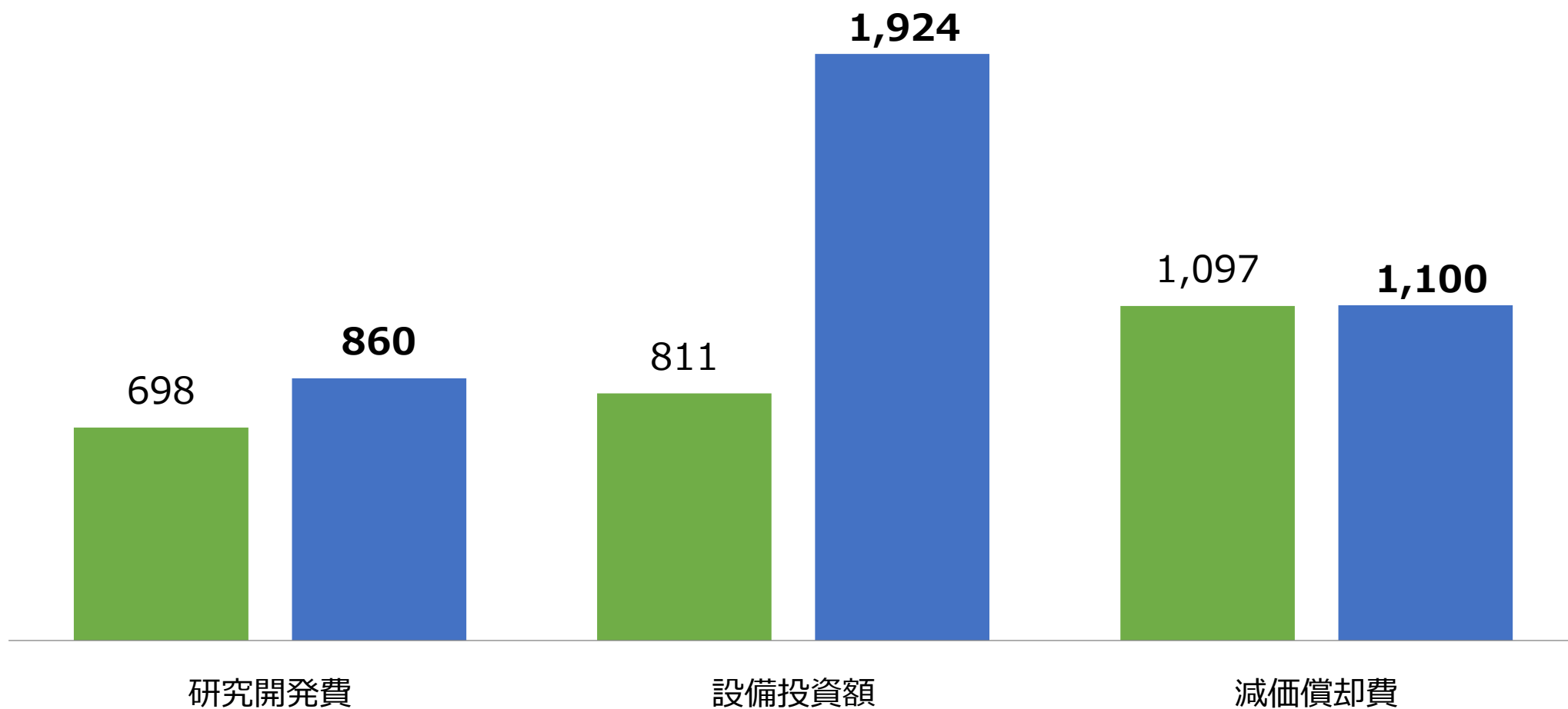
※2021年度より、「収益認識に関する会計基準」等の適用後の数値にて算出しております。

※2021年度までは旧事業区分にて記載しております。

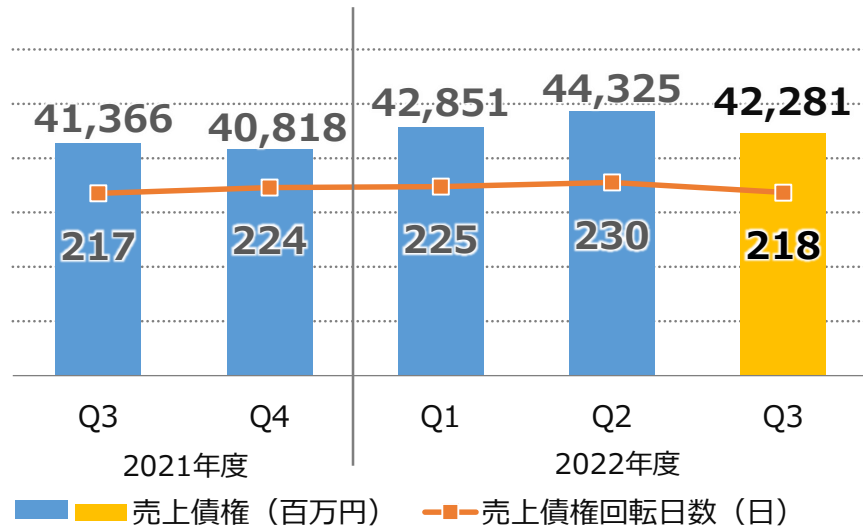
研究開発費・設備投資額・減価償却費（第3四半期累計）

■ 2021年度 ■ 2022年度

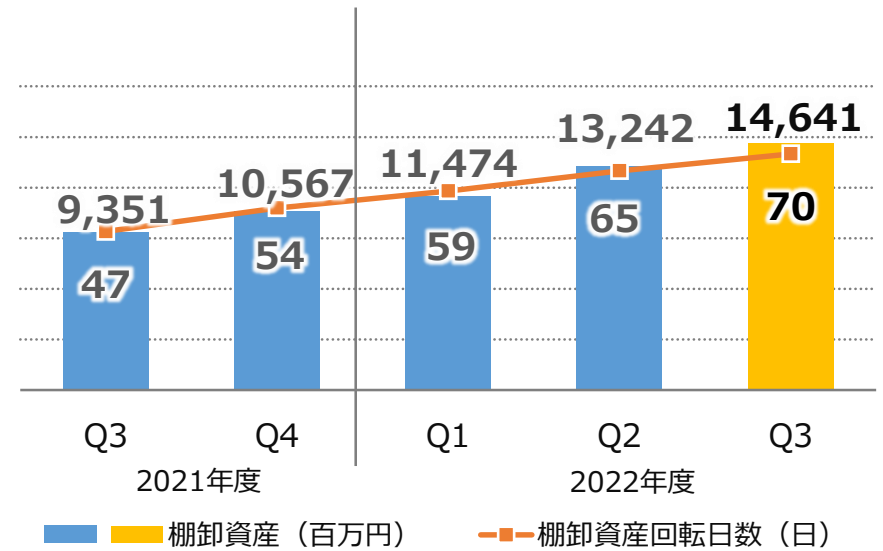
(単位：百万円)



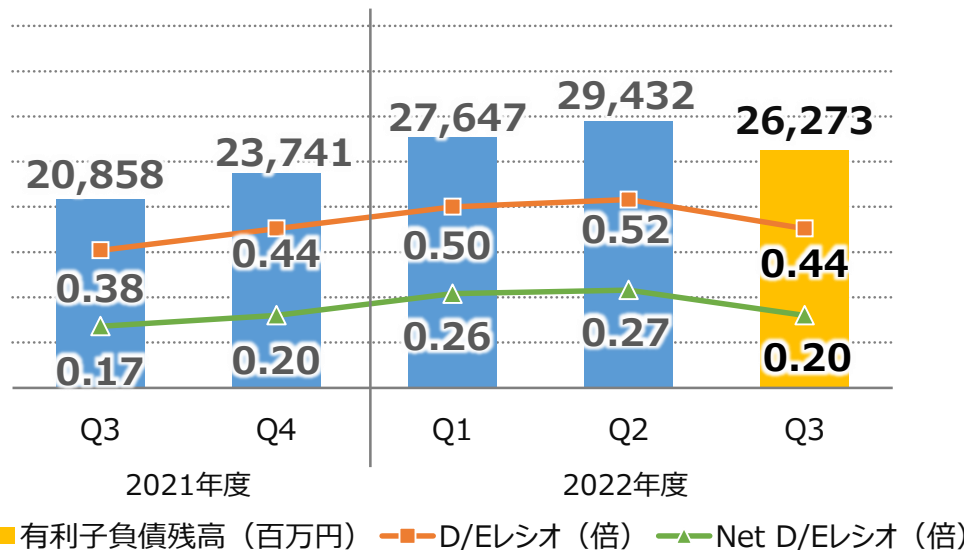
売上債権・売上債権回転日数



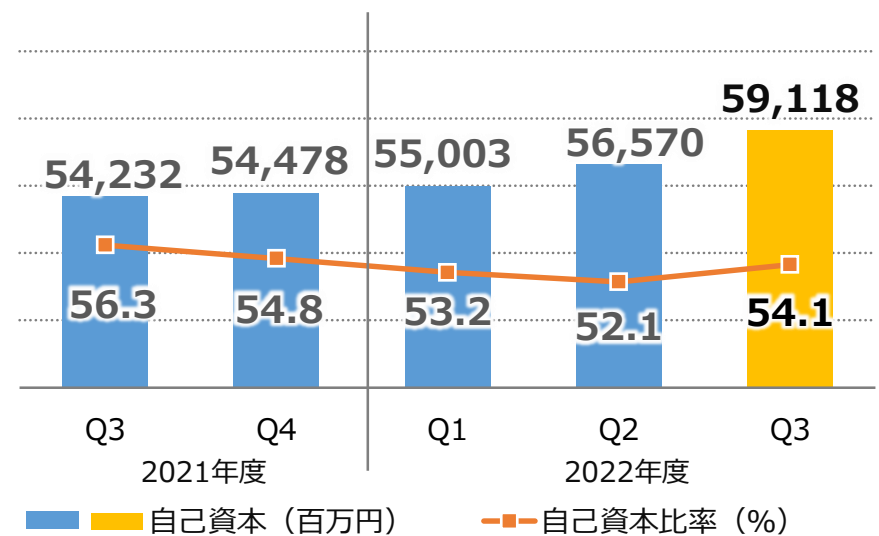
棚卸資産・棚卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



※売上債権回転日数、棚卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

トピックス：大型案件受注（2022年11月16日 開示）

■北米新興メーカー向け電気自動車関連設備の大型案件受注（2022年11月）

- 受注した設備はEV向けEDU(Electric Drive Unit)組立ライン等で、受注金額は75億円超
- 業績の一部は当期業績予想に織り込んでいるが、一部は来期以降の業績に寄与するものと見込む

<直近2か年に開示した大型受注案件>

事業部門	開示日		設備概要	金額
自動車関連	2021年	9月	北米新興メーカーのEV用EDU組立ライン	約40億円
	2022年	1月	内燃機関係設備	約58億円
		7月	EV用EDU組立ライン 2ライン	100億円超
		11月	北米新興メーカーのEV用EDU組立ライン等	75億円超

トピックス：ESG経営の取り組み強化

「サステナビリティ推進委員会」本格稼働（2023年4月～）に向けて、社外有識者を交えた事前検討を実施

<E：環境>

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明・開示要請事項について開示（2022年11月）

<S：社会>

- ・「Hirataグループ人権方針」策定（2022年10月）
- ・「調達基本方針」改定、「Hirata CSR調達ガイドライン」改定（2022年11月）

<G：ガバナンス>

監査等委員会設置会社への移行を取締役会で決議（2023年2月）

- 2023年6月開催予定の株主総会での承認を経て移行

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。